

マテリアリティ特定とステークホルダーとの対話

国際的ガイドラインやステークホルダーの声に配慮し、CSR取り組みのマテリアリティ(重要課題)を特定。
CSRガイドラインの19指標に優先順位を付け、さらにCSR活動を前進させていきます。

マテリアリティ特定のプロセス

住友ゴムグループは、CSR活動を活性化させ社会から信用される企業グループとなるため、2008年度にCSR活動基本理念と、「Green(緑化)」「Ecology(事業活動の環境負荷低減)」「Next(次世代型技術・製品の開発)」「Kindness(人にやさしい諸施策)」「Integrity(ステークホルダーへの誠実さ)」の五つの枠組みから成るCSRガイドライン(5項目・13指標)を策定しました。

2011年度に、このCSRガイドラインの13指標について、重要性の高い指標(マテリアリティ)を特定しました。

2014年度、事業環境の変化などにもなうステークホルダーや社会への影響を考慮し、重要なCSR取り組みを19指標に設定。

そして2015年度には、19指標について、「GRIガイドライン(G4)*」で求められる内容などを踏まえながら、各種ステークホルダーへの調査をもとに、取り組みの優先順位付けを実施。

各CSR目標の達成に向けた取り組み結果を本報告書にてお伝えしていきます。

*Global Reporting Initiative:CSR報告書のガイドラインを発行する国際団体。現在GRIスタンダード発行。

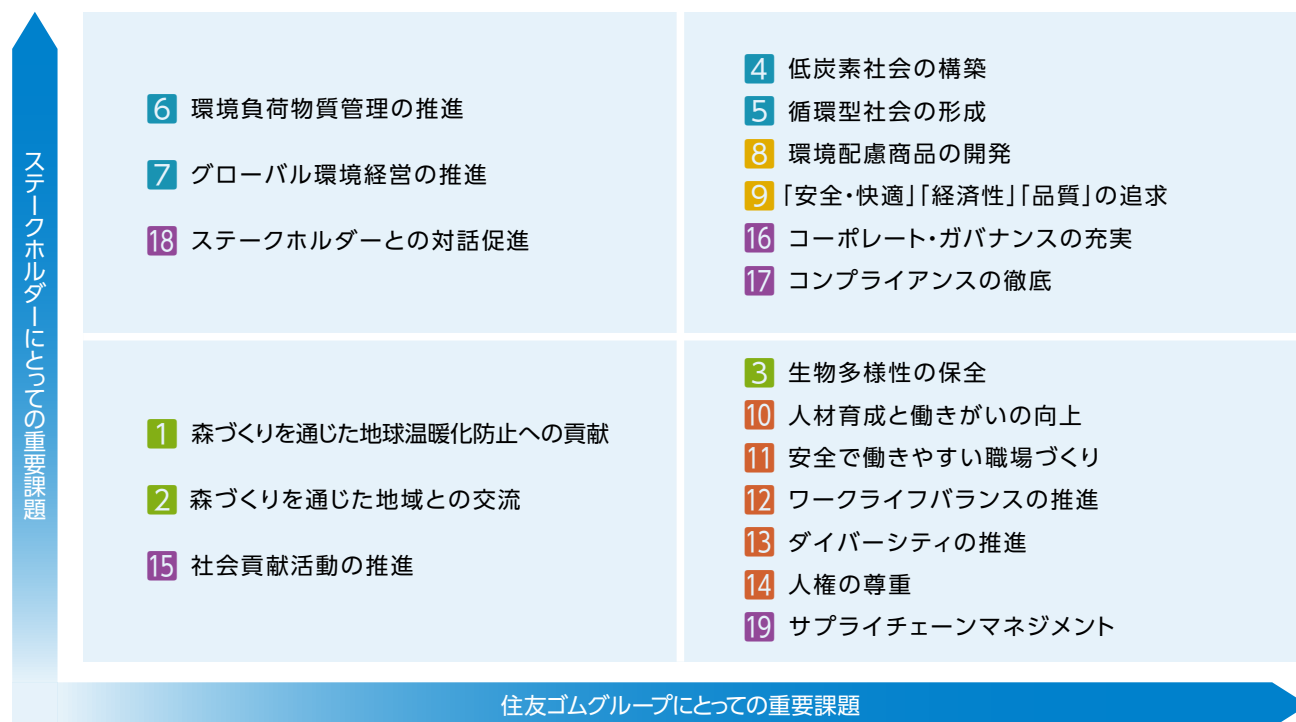
ステークホルダーへの調査・アンケート実施

- ① サプライヤーCSRヒアリング調査
- ② CSR報告書読者アンケート調査(従業員)
- ③ 環境ブランド調査
- ④ 従業員アンケート調査
- ⑤ 消費者総合調査
- ⑥ 個人株主アンケート調査

調査結果を「GENKI」の5項目19指標に照らして「ステークホルダーにとっての重要課題」と「住友ゴムグループにとっての重要課題」を軸に重要度の高い項目を設定

マテリアリティの決定・優先順位付け

CSRガイドライン「GENKI」に包含される19指標とマテリアリティ(2016年～)








ステークホルダーとの対話

私たちは、定期的なステークホルダー調査によるさまざまな要望・期待など、ステークホルダーの声に配慮することはもちろん、事業・業務を通じた日常の対話も重視しています。

ステークホルダーに対して、果たすべき責任を意識し、多様な方法で、コミュニケーションの促進に努めています。

主なステークホルダーとのコミュニケーション方法

	特徴	主な果たすべき責任	コミュニケーションの方法
 お客様	自動車メーカー、各種製造会社、各種販売会社、スポーツ施設など	<ul style="list-style-type: none"> ●品質マネジメント ●安全性を高める商品開発 ●安全運転の啓発 ●商品情報・サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●お客様相談室やサービス窓口 ●営業担当部門・サービス担当部門によるお客様対応 ●ホームページなどによる情報発信 ●展示会・イベント など
 取引先	ゴム原材料メーカー、各種材料メーカー、商社、各種加工会社など	<ul style="list-style-type: none"> ●公正で適正な調達 ●CSR調達 	<ul style="list-style-type: none"> ●日々の業務を通じての対話 ●調達パートナー様の訪問確認 / フィードバック ●調達パートナー様へのアンケート ●説明会 など
 地域社会	工場・事業所所在地域の住民、自治体、行政、教育機関、各種団体など	<ul style="list-style-type: none"> ●社会貢献活動 ●緑化活動 ●生物多様性保全活動 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域イベントへの参加 ●社会貢献活動などでのNGO・NPOなどとの協働 ●経済団体や業界団体などへの参加 ●自治体との対話 など
 株主・投資家	株主数：36,845名、個人投資家、機関投資家 など (2019年12月31日現在)	<ul style="list-style-type: none"> ●株主への利益還元 ●株主・投資家との対話を通じた企業価値の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●株主総会 ●ニュースリリース・公告などによる適時の情報開示 ●ファクトブック、株主通信などの各種財務情報の発信 ●ホームページなどによる情報発信 ●決算説明会 など
 従業員	住友ゴムグループ：39,233名、住友ゴム：7,325名(男性6,519名、女性806名) (2019年12月31日現在)	<ul style="list-style-type: none"> ●人材育成 ●労働安全衛生 ●健康管理 ●雇用の多様性 ●ワークライフバランスへの配慮 ●人権への配慮 ●従業員との対話 	<ul style="list-style-type: none"> ●社内報・イントラネットなどによる情報発信 ●労使協議会、または従業員代表との協議 ●コンプライアンス相談窓口 ●経営層と意見交換する社長懇談会 ●統合報告書アンケート など